

# 身体と倫理

## 湯浅泰雄の研究を手掛かりとして

越智秀一（思想史研究者）

### はじめに

2005年に逝去した湯浅泰雄は、身体をめぐる研究の第一人者であった。身体論ではそのほか市川宏が知られているが、市川が西洋の現代哲学に立脚していたのに対し、湯浅の研究は、東洋の修行まで射程にいれていた点でひとときわ際立つものであった。和辻哲郎の弟子であり、倫理学者であった湯浅が、なぜ身体を問題にしたのか。そこには、近現代哲学の盲点に対する湯浅の恐るべき直覚があった。本稿では、湯浅の近代哲学の認識論やそれにもとづく倫理学への違和から東洋的身体論への展開を追いつつ、そこに根差した人格の形成や倫理の問題を探究したい。